

子どものためのコミュニティ主体型
ノンフォーマル教育CASP
(キャस्प)の取り組み

活動の背景紹介

多様な国 ネパール

面積・気候	1,47,181 km ² (北海道の約二倍) 緯度は、ほぼ沖縄本島にあたる亜熱帯ながら南北約180kmの国土の標高差は8,800m近く 北部山間部は降雪もあるが南部インド国境沿いは平地で酷暑のジャングルも
宗教・民族・言語	八割がヒンズー教、仏教一割、インド国境沿い中心にムスリムも4.2% 大別して102の民族(いわゆる不可蝕低カーストがいる)、92の言語(国語はネパール語:約半数の母語で、学校教育はネパール語)
現在...	王政を廃止し、暫定憲法を制定、制憲議会選挙に向けて準備中

教育を中心に～ネパールと日本との比較～

総人口（万人）	2659	1億2792
平均余命	62歳	82歳
総人口に対する18歳未満人口の割合	46%	17%
男子小学校入学率（対学齢期者数）	75%	100%
女子小学校入学率（対学齢期者数）	66%	100%
小学校5年生への進級率（対入学者数）	65%	-
15歳以上人口の識字率	49%	-
うち男性人口の識字率	63%	-
うち女性人口の識字率	35%	-
児童労働率（5～14歳）	31%	-
幼年結婚率（*1）	56%	-

*1: 調査時20～24歳の女性のうち、18歳未満で結婚した女性の割合

出典: ユニセフ「世界子ども白書2006」

ノンフォーマル教育とは？

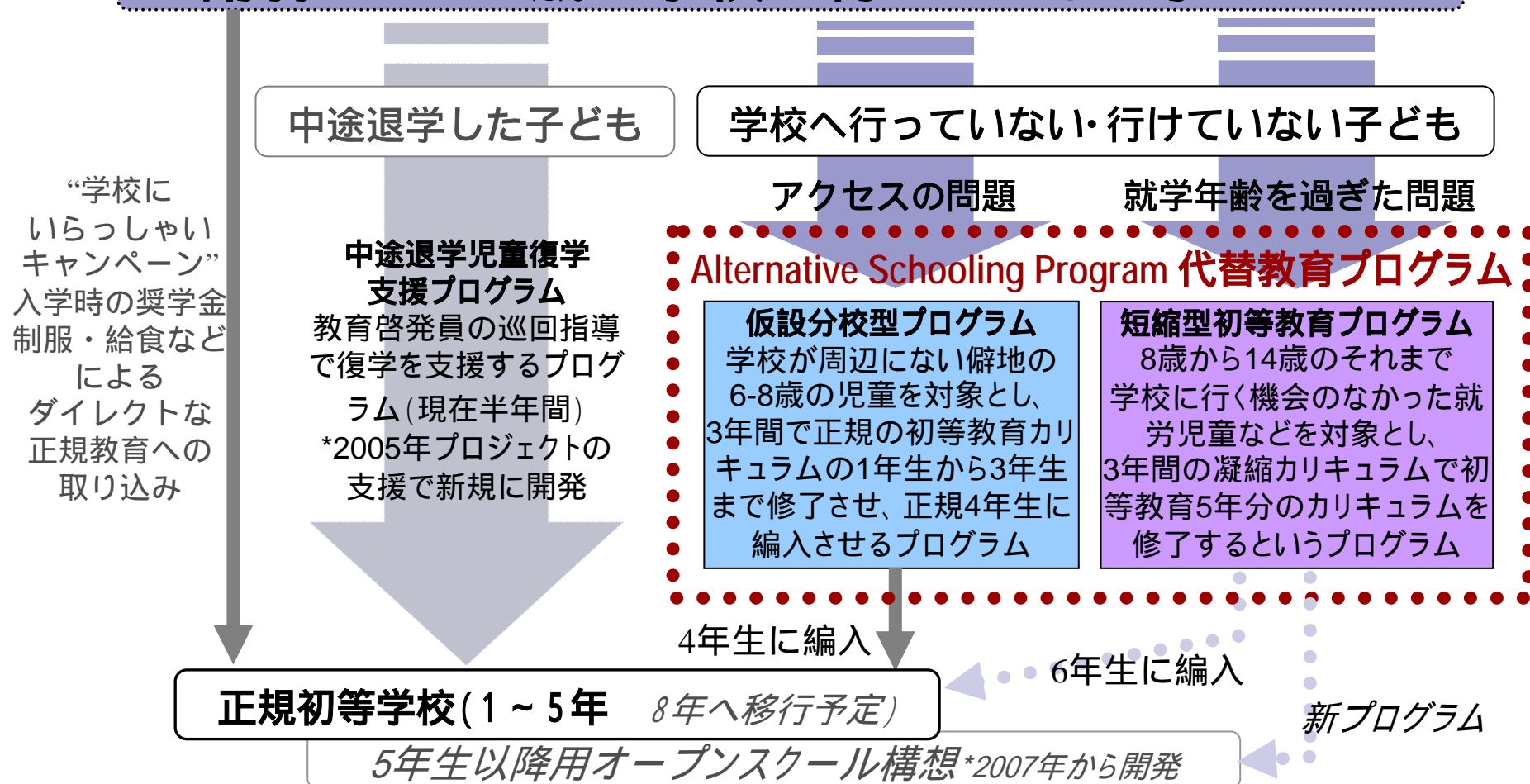
- フォーマル教育 (正規学校教育) のような組織性・計画 と
- イン・フォーマル教育 (非公式教育 / 家庭教育 / 独学) の柔軟性・多様性 を併せ持つ
- 比較的自由度の高い教育

その中でCASPが支援する代替学校プログラムは非常にフォーマルに近いノンフォーマル教育

	フォーマル教育	ノン・フォーマル教育	イン・フォーマル教育
場所	固定	ほぼ固定	柔軟
時間	固定	やや柔軟	柔軟
内容	画一	多様	多様
実施主体	国家	任意団体	個人
指導者	有資格者(教員)	認定者(ファシリテーター)	学習補助者・自習

ネパール政府実施の子どものための ノンフォーマル(代替的学校型)教育プログラムデザイン

2割弱の6~14歳の学校へ行っていない子どもたち



正規教育・代替的学校型教育プログラムの比較

正規教育の教室

基本的に同一年齢

基本的には新入

大人数のケース多々

正規教育の教育要綱

一日六時間

正規教員

高等教育資格終了
試験合格者
10ヶ月基礎研修
月給NRs. 4900
有給休暇あり
同僚が学校にいる

代替学校教育プログラムASP教室

仮設分校型プログラム

6-8 歳

基本的には新入

基本的には20人だが需要は高く20人を超えることも

正規教育の教育要綱

一日四時間

ファシリテーター：ノンフォーマル教育教員

高等教育資格終了試験合格者
15日の事前研修+5日の年度末補充研修
月給NRs. 2000
有給休暇なし
教室に一人きりで同僚・相談者がいない

僻地なため徒歩
通勤距離が長い

短縮型初等教育プログラム

8-14 歳

中途退学と新入

5年生分を3年で修める
凝縮教育要綱

中途退学児童復学 支援プログラム PSDC

6-14 歳

中途退学

村内の中途退学児童

カウンセリング・
家庭訪問など

教育啓発員

高等教育資格終了
試験合格者
5日の基礎研修+1日の
実地オリエンテーション
月給NRs. 2000
6ヶ月のみ
統括範囲が広い